



海老名市における成年後見制度利用促進の取り組みについて

志政会 藤澤 菊枝

問 高齢者や障がい者が、自分の意思を尊重し、生きがいを持って安心して暮らせる地域共生社会の実現は、かねてより私が目指すところです。認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者が増加するとともに身体障がい者の高齢化により、金銭の管理や契約など、さまざまな場面でサポートを必要とする方が増えてきていると思います。このような方への支援として成年後見制度がありますが、まだまだ普及しているとはいえない状況と感じています。そこで、本市における成年後見制度の状況と利用促進への取り組みを伺います。

答 **（市長）**：成年後見制度は、誰もが自分らしく誇りを持って地域の一員として暮らし続けるために必要な制度と認識しています。このため、本市ではえびな成年後見・総合相談センターを設置し、市民からの相談に応じ、関係機関と連携することで制度の利用支援に積極的に取り組んでいます。令和4年度からは、海老名市成年後見制度利用促進基本計画を策定し、さまざまな施策を総合的かつ計画的に進めることで、さらなる利用促進を図ってまいります。

答 **（理事兼保健福祉部長）**：これまでえびな成年後見・総合相談センターの開設のほか、市民後見人の養成や市長申し立ての成年後見人への報酬を助成するなど、利用の支援をしてきました。しかしながら、制度の認知度がまだ低いことや後見人への報酬の支払いが長期間続くなど、課題もあると認識しています。このため、海老名市成年後見制度利用促進基本計画に基づき、後見人に対する報酬の助成範囲の拡大や申し立てに関わる費用も助成するなど、利用促進を着実に図ってまいります。

その他の質問

・テナントビル、大規模倉庫や工場の防火管理体制について



新型コロナウイルス感染症の現状について

志政会 葉梨 之紀

問 オミクロン株は昨年11月24日、南アフリカ共和国が初めてWHOに報告した変異ウイルスです。その感染力の強さから今年に入って急激に感染が拡大し、新規感染者数は米国で1日44万人、日本でも1日10万人を超えています。拡大の要因と考えられているのが、ワクチン接種から時間がたち予防効果が薄れてきていることで、再拡大に歯止めをかけようと、先進国は3回目の追加接種（ブースター接種）を急いでいます。変異ウイルスは現在1500種類以上が特定されていますが、オミクロン株の特徴は、通常の変異ウイルスでは10力所程度のスパイクの変異箇所が、30力所もあることです。現在、経口抗ウイルス薬の実用化が進んでいて、軽症から中等症の患者に対する臨床試験で入院、死亡のリスクを低下させたということです。今回のオミクロン株では、学童保育施設を含めた教育や養護施設と高齢者施設での感染が多いことなども報道されています。本市における①感染者の現状②ワクチン接種の取り組み③自宅療養者支援の実情について伺います。

答 **（市長）**：①第5波の感染者は昨年7～9月で1036人でしたが、第6波では今年1～2月で3544人と急拡大しています。②現在、18歳以上の追加接種を初回の接種と同様に集団、個別、巡回接種で行っており、4月からは働く世代などが受けやすい夜間の集団接種もビナガーデンズパーチで予定しています。今後も感染対策を徹底し、希望する方が安心して円滑に接種できるよう、医師会など関係機関と連携しながら接種体制の確保に努めていきます。

答 **（市長室次長）**：③県からの情報を元に自宅療養者宅へ毎日100件前後の電話をしています。昨年2月の開始からこれまでに約4400世帯に連絡し、186世帯468名の方を支援しました。現在は11世帯の方を支援中です。

その他の質問

・高齢化社会を見据えた行政改革の取り組みについて



健康経営について

政進会 宇田川 希

問 市では、経済産業省の推進する健康経営について、どのように捉えているのか伺います。

答 **（市長）**：健康経営は、従業員などの健康管理を経営的な視点から実践することで、組織の業績向上に結び付くという考え方です。人は城、人は石垣という言葉もあり、また「人財」と表現されることもあるように、市職員は市にとつての貴重な財産です。健康を維持し、業務において能力を十分発揮していただくためにも、健康経営という視点は自治体にとっても重要なものであると認識しています。

問 働き方改革の視点から、市としても健康経営優良法人認定制度にチャレンジしてみるのが良いかと考えますが見解を伺います。

答 **（市長室長）**：健康経営という視点は大変重要なものと認識していますので、認定要件に捉われず海老名市として必要な健康経営に向けた取り組みを引き続き行うことで、市民サービスの向上を図ってまいりたいと考えています。

問 市で働く女性職員に対して、どのようなサポート・配慮が行なわれているか伺います。

答 **（市長室長）**：女性専門の相談窓口などは現在設けておりませんが、市産業医の中には産婦人科を専門とする先生がいますので、必要に応じて相談できる体制を整えているところです。女性の能力をより発揮できる環境づくりを目指すため、来年度より市長室内に新たに女性活躍担当の職員を配置し、女性の活躍に向けたさまざまな施策を展開していきたいと考えております。

その他の質問

・高齢者が輝ける海老名のまちづくりについて

